

日本語リテラシー教育の汎用化に向けての開発と実践



継続的な授業システム(テキスト・教授法)の改善および新教材の開発

共通教育「日本語リテラシー入門」の成果をもとに、高校生や留学生への日本語教育(海外での教育実践)、そして教職員教育などへ展開し、日本語リテラシー教育の汎用化を促進していく。

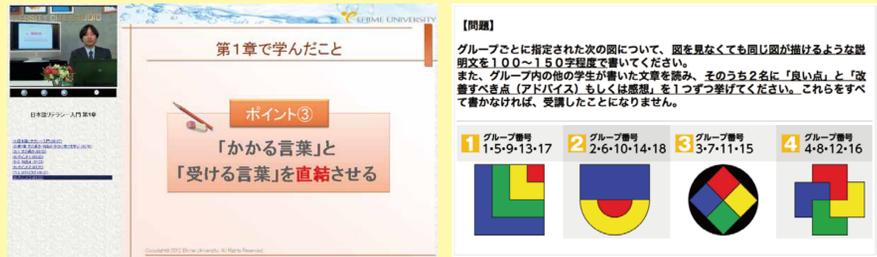
総合情報メディアセンター 教育デザイン室
TEL)089-927-8978 [E-mail] idoffice@stu.ehime-u.ac.jp

「日本語リテラシー入門」について

平成 25 年度後学期より、1 年次必修の基礎科目として開講 **全8回(1単位)**

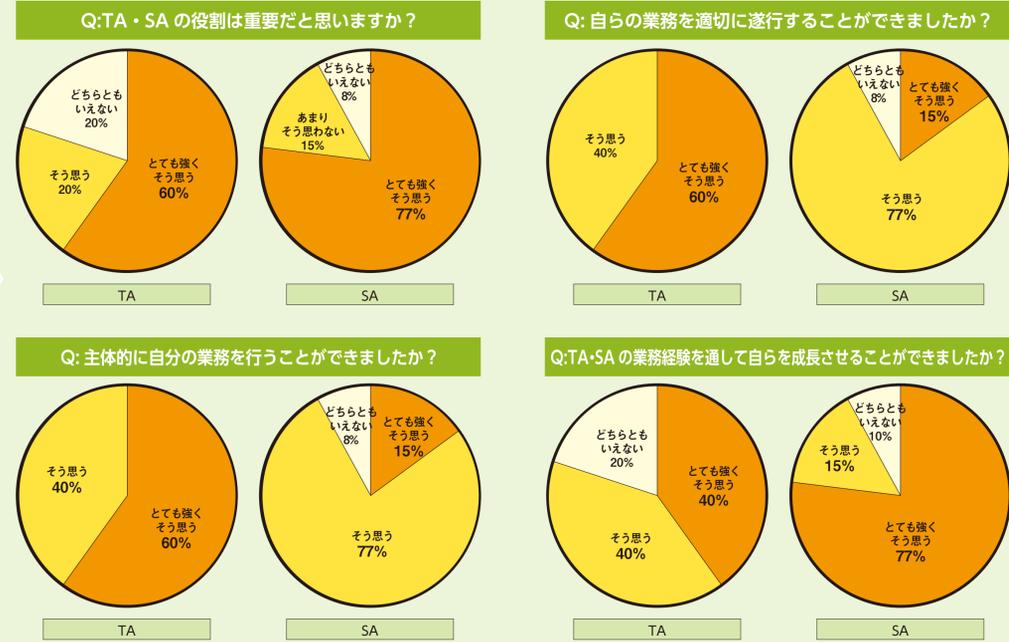
「日本語リテラシー入門」は、対面授業と e ラーニング(メディア授業)を交互に行う **ブレンディッドラーニング** です。

- 第1回：対面授業** オリエンテーション/[第1章]文の長さ・句読点・かかり受けを学ぶ/[第2章]単語・文・段落を学ぶ
- 第2回：メディア授業** 【第1章】【第2章】の振り返り(ポートフォリオ)
- 第3回：対面授業** 【第3章】ものごとを正しくとらえ、分かりやすく伝える/[第4章]資料を解釈し、説明する
- 第4回：メディア授業** 【第3章】【第4章】の振り返り(ポートフォリオ)
- 第5回：対面授業** 【第5章】仮説を立て、考えを組み立てる/[第6章]確かな解釈に基づき、主張する
- 第6回：メディア授業** 【第5章】【第6章】の振り返り(ポートフォリオ)
- 第7回：対面授業** 【第7章】主張を検証し、批判する
- 第8回：メディア授業** 【第7章】の振り返り(ポートフォリオ)/最終試験及び全体の振り返り(ポートフォリオ)



TA・SA を経験することの成果

授業を担当した TA・SA へのアンケート調査および聞き取り調査の結果



TA・SA を経験することによって

「主体性」「責任感」が大きく成長する

大学のスタッフとして自覚を持って業務を行うことができたかの問いに、TA・SAともに「できた」の回答が100%

授業で自分がミスをするという学生に迷惑をかけてしま組んだ(聞き取り調査での回答)

全体的にTAの方が「とても思う」の比率が高い

・業務内容の違い(課題の採点のためより責任が伴う)
・自分の立場(教員のサポート役を自覚している)

TA・SA を経験することによって

- 「主体性」「責任感」が大きく成長する
- 「協調性(連帯感)」「チームワーク」「リーダーシップ」

【アンケート調査】【聞き取り調査】

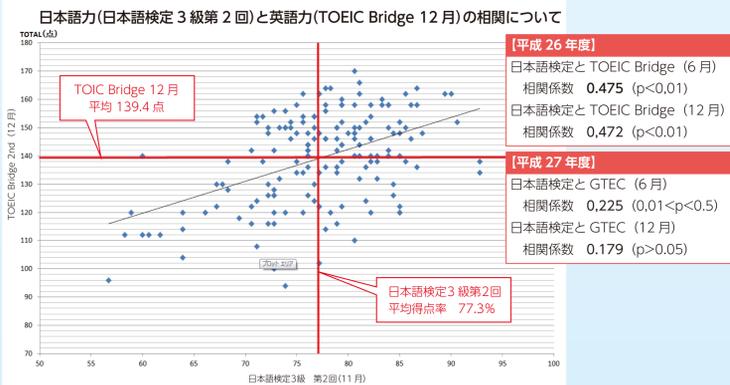
チームで授業を運営していくことの重要性や難しさを実感

コンピテンシーの涵養に効果がある

日本語リテラシー入門 愛大GPの取り組み

1 日本語力と英語力の相関に関する調査・研究

平成 26 年度 日本語検定と TOEIC Bridge で比較
平成 27 年度 日本語検定と GTEC で比較



平成26年度は相関が見られたものの平成27年度はほぼ相関が見られませんでした。

英語の検定試験によって、相関の有無があるのは、テストの性質によるものです(英語のテストは、ともに、リーディングとリスニングで構成は同じですが、問題作りに違いがあると考えられます)。

2 高大連携科目「日本語リテラシー」での取り組み

初めて e ラーニングによる時間外学習を導入した取り組みの成果

平成27年度よりeラーニングによる時間外学習を導入しました。eラーニングの最後のアンケート結果から、約8割の生徒がeラーニング教材に取り組むことよって、日本語力が向上したと意識していることがわかります。

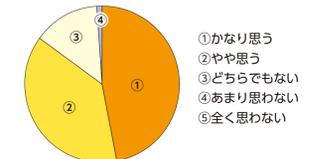
【図：eラーニングに取り組んだ成果】



またプログラム受講の意義について質問したところ、eラーニング「プログラムの受講に意義があると思う」(①「かなり思う」および②「やや思う」)と回答した比率は85%で、8割以上の生徒が、本プログラムを実施する

意義があると意識していることがわかります。「③どちらでもない」と回答している比率が14%あるものの、「意義があるとは思わない」という回答が、「④あまり思わない」で1%(1人)しかいないことから、生徒たちが本プログラムを意義あるプログラムとして意識していることがわかります。

【図：プログラム受講の意義】



3 大学・高校の取り組みに関する成果検証 ~日本語検定において団体賞を受賞~

愛媛大学は2年連続で文部科学大臣賞受賞

【愛媛大学】
昨年に引き続き平成27年度第2回(3級)を受検し、**文部科学大臣賞**を受賞しました。



日本語が好きだから **語検**

【附属高校】
高大連携科目「日本語リテラシー」の成果を検証するため、平成 27 年度第 1 回(3 級)を受検し、**全国高等学校国語教育研究連合会賞優秀賞**を受賞しました。

※高校は各年度の第1回を受検、大学は各年度の第2回を受検



愛大 GP の取り組みは下記の各種教育系学会で発表しています。

- 秋山英治・仲道雅輝 [e ラーニングを用いたブレンド型授業における TA・SA の活用と成果] 大学教育学会第 37 回大会 (2015 年 6 月 7 日、長崎大学)
- 秋山英治・仲道雅輝 [初年次教育から専門教育への接続] 日本リメディアル教育学会第 11 回大会 (2015 年 8 月 29 日、北星学園大学)
- 仲道雅輝・秋山英治・都築和宏 [プレイズメントテストの実施が学ぶ姿勢の形成と主体性に及ぼす影響] 日本リメディアル教育学会第 11 回大会 (2015 年 8 月 29 日、北星学園大学)
- 秋山英治 [日本語授業における ICT の活用] 日本リメディアル教育学会第 11 回大会 (2015 年 8 月 30 日、北星学園大学)
- 秋山英治・仲道雅輝 [高大連携における e ラーニングの導入について] 初年次教育学会第 8 回大会 (2015 年 9 月 4 日、明星大学)